

第2学年A組社会科学学習指導案

平成28年6月16日 (木) 第4校時

指導学級 2年A組 25名

指導場所 2年A組教室

指導者 実習生

1. 単元名 中国・四国地方 ～都市と農村の変化と人々の暮らし～ (東京書籍『新しい社会 地理』)

2. 単元目標

- (1) 中国・四国地方の自然環境や農業、工業、人口問題を学習する中で、中国・四国地方の人々の暮らしに関心を持ち、意欲的に追及しようとする。【 社会的事象への関心・意欲・態度 】
- (2) 中国・四国地方の、地域ごとの気候と農業の関連、交通網と工業を関連付けて考えたり、過疎・過密地域の問題について、どのような解決策があるのか自分の意見を表現できる。【 社会的な思考・判断・表現 】
- (3) 雨温図や季節風の図から、3つの地域の気候になぜ違いが出るのか読み取り、気候の特色をまとめることができる。人口ピラミッドから、中国・四国地方の人口問題を読み取ることができる。【 資料活用 の技能 】
- (4) 3つの地域区分があり、それぞれにあった農業や工業があること、中国・四国地方で抱える人口問題について理解し、その知識を身に付けている。【 社会的事象についての知識・理解 】

3. 指導にあたって

(1) 教材観

学習指導要領地理的分野の中項目ウ「日本の諸地域」では、日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域の特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追及する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色をとらえさせることを主なねらいとしている。

本単元では、日本の諸地域の中で、中国・四国地方をとりあげる。特に、人口や都市・村落を中核として中国・四国地方の特色を理解させる。例えば、都市の再開発や過疎地域のまちおこしなどは、身近な具体例を取り入れながら考えさせる。気候と農業、交通網と工業などそれぞれの事柄を関連させて学習し、最終的には、すべての事柄は関係性を持っているということを伝える。

(2) 生徒観

前単元である九州地方については、自然環境と農業・工業を関連付けて考える方法を学習してきた。そのため生徒は、単元が変わっても、様々な事柄を関連付ける考え方は身につけていると思う。ひとりひとり意見をしっかり持っており、発言もいとわない生徒たちであるため、活発な意見交換ができるよう、教師側がしっかりと生徒の考えを導き、発言できる機会を増やす。

(3) 指導観

中国・四国地方について、その地域の問題や自然環境などを主体的に考えられるように、地元の問題を例示したり比較するなど、工夫する。自分以外の様々な意見に触れて考えを深めるためにも、グループワークや発表を通して、ひとつの事柄を多角的に捉えられるようにする。

4. 指導計画・評価計画

次	学習活動	評価規準			
		関・意・態	思・判・表	技能	知・理
一次 1時間	中国・四国地方の気候を3つの地域に分けて考え、農業との関連を考える。		3つの地域で気候の差が生じる理由をまとめることができる。	資料から、地域ごとの気温の差や特色を読み取る。	
二次 1時間	工業と交通網を関連づけながら考える。		発達している交通網に合った工業が盛んであることを考える。		中国・四国地方を代表する瀬戸内工業地域があり、そこで盛んな工業を理解し身に付けている。
三次 1時間	過密問題を、広島都市再開発に注目して考える。	中国・四国地方は過疎化がイメージされがちだが、過密問題もあることを知り、追及していく。			
四次 1時間	過疎地域の過疎化問題、まちおこしについて考える。		身近な例をあげ、各自で過疎化に対する解決策を考えて表現する。		
五次 1時間	交通網の発展による地域の変化を考える。			交通網の変化図と土地利用の図を昔と現在で比較し、どのように変化したか読み取る。	

5. 本時の学習（第一次第1時）

(1) 題材名 「中国・四国地方の気候と農業」

(2) 本時のねらい

- ・雨温図から太平洋側、瀬戸内、日本海側のそれぞれの特色を読み取り、区分できるようにする。【資料活用の技能】
- ・季節風の資料から、気候の違いが生じる理由を考えて、3つの気候の特色を考えて文章にまとめることができる。【社会的な思考・判断・表現】

(3) 準備 ホワイトボード

(4) 本時の展開

	指導内容	学 習 活 動		時 間
		教師のはたらきかけ・留意点 評価【観点】<方法>	生徒の学習活動	
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方の位置確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方の地図を見せて位置確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を見て中国・四国地方の位置を確認する。 	5分
(今日の課題)		中国・四国地方の気候の特色について考えよう		
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・本時から、中国・四国地方について学習していく。前回の九州地方と同様、まずは自然と農業の関わりから考えていく。 	<p>【気候】 (グループワーク) 1班4人程度</p> <p>①まず雨温図を見せる。</p> <p>『それぞれの雨温図からわかることをあげてみよう』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれる。 <p>①それぞれの地域の雨温図を見て、わかることをグループで考えて挙げていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者が黒板の表に書いていく。 	10分
	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方の中でも、山陰、瀬戸内、山陽と3つの地域に分けられる。各地域代表として、鳥取、高松、高知に注目して本時では学習していく。 この3つの都市の雨温図、夏冬それぞれの季節風の様子図から、各地域はどのような気候の違い、特徴があるのかを読み取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで出た意見をそれぞれ確認していく。 	<p>雨温図から太平洋側、瀬戸内、日本海側のそれぞれの特色を読み取り、区分できるようにする。</p> <p>【資料活用の技能】 <グループワーク></p>	15分

<p>・特徴を理解したところで、自然と農業の関わりについて考えさせる。 高知県の促成栽培を例に挙げて説明する。</p>	<p>②中国四国地方の夏、冬それぞれの季節風の図を見せる。</p> <p>『この季節風の様子図をみて、なぜ3つの地域の気候に、それぞれ差が出てくるのかを考えてみる。それを踏まえ、3つの地域それぞれの気候の特色を文章でまとめてみよう』</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>季節風の資料から、気候の違いが生じる理由を考えて、3つの気候の特色を考えて、文章にまとめることができる。</p> <p>【社会的な思考・判断・表現】 ＜ボード、発表、グループワーク＞</p> </div> <p>・すべてのグループができたところで、各班代表者に発表させる。</p> <p>・グループワーク終了。机を戻させる。</p> <p>【農業】</p> <p>・高知県の促成栽培について考える。 (資料集 P54)</p> <p>ナスの月別入荷量と価格のグラフを見てもらい、先程の気候の学習と関連させて、促成栽培について理解させる。</p>	<p>②この季節風の図、そして先程の雨温図からわかった様々な意見をもとに、グループで、3つの気候の特色を文章でまとめる。</p> <p>・ホワイトボード使用。 できた班から黒板に貼っていく。</p> <p>・各班の意見を聞き、自分がいいなど思った意見をノートに書く。</p> <p>・資料集の、高知県のナスの月別入荷量と価格のグラフを見て、気候と関連させて促成栽培について理解する。</p>	<p>10分</p>
---	--	---	------------

整 理	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を通して、わかったことを、気候と農業を関連させてまとめさせる。 ・時間があれば何人かに発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする。 	10 分
<p>(今日のまとめ) 中国・四国地方の気候は、地形と季節風の影響で、3つの区分に分けることができる。</p>				